

数学の勉強方法

数学の勉強方法—まとめ

問題演習は演習書に書き込まない。ノートに解く。

おすすめ:ノートに演習する時は、消しゴムを使わない。間違えたら、その部分に斜線を引き、次の行にまたやり直していく。

ノートは縦に折り、左側だけに演習をし、右側は復習時の「気づき」のメモのために真っ白にあけておく。

間違えた問題には、演習書のチェックボックスにチェックを入れる。

復習するときは、チェックボックスにチェックの入った問題のみを正解するまで解き直す。

ノートへの演習の方法 — 横書きの科目

振り返りがしやすいように、
日付や問題番号を記入する

縦線を入れて、2分割する

目付

参考書・問題集の名前

問題番号

左側に問題を解く

右側は振り返り用にあけておく

例

- 正しい答えを記載
- 間違った時の解き直し
- 間違った原因や対策のメモ
- その他、気づきなど

間違った問題のチェックボックスにチェックを入れる

問題をノートに解いたあと答え合わせをし、間違った問題については問題集のチェックボックスにチェックを入れてください。

間違った問題だけに
チェック

③ 図1は、ヒトのからだのつくりを表したものです。吸収について、次の問いに答えなさい。

(1) たんじゅうをつくる器官はどれですか。図1のA～Fから選びなさい。また、その器官の名前も答えなさい。

記号		名前	
----	--	----	--

(2) タンパク質を最初に消化する器官はどれですか。図1のA～Fから選びなさい。また、その器官の名前も答えなさい。

記号		名前	
----	--	----	--

(3) だ液にふくまれ、でんぷんにはたらく消化こう素を、でんぷんは何に変えられますか。

消化 こう素	
-----------	--

(4) しぶうは消化されて、最終的に何という物質になりますか。

(5) 図2は、消化された栄養分を吸収するつくりで、あまにがあります。このつくりを何といいますか。また、これを、図1のA～Fから選びなさい。

間違った問題だけを解き直し

解き直しをするときは、間違った問題だけ解き直しすればいいです。

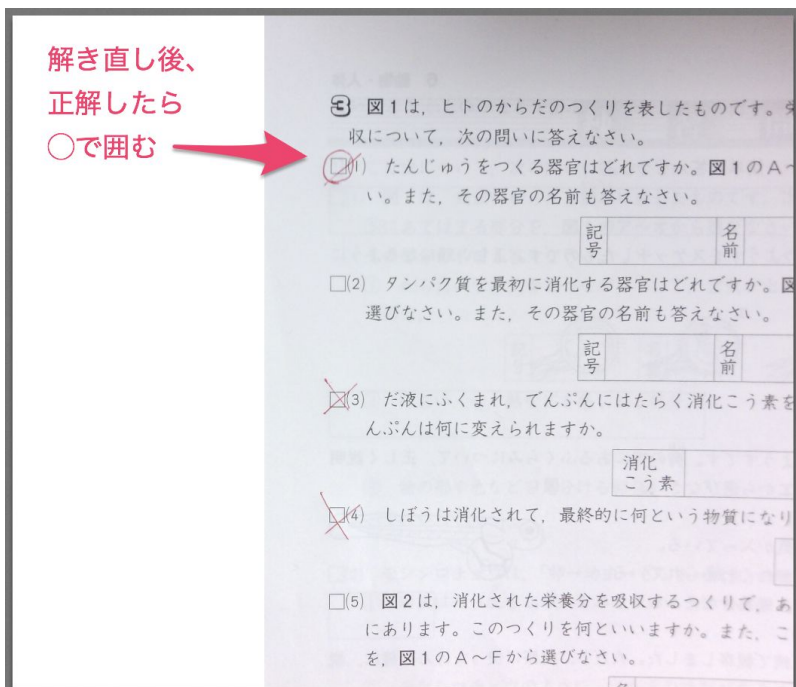
理由は、一度正解した問題は次も正解する可能性が高いので、何度もやる必要はないからです。解き直しの時間を短縮させましょう。

「一度正解しても忘れてらどうするんですか？」と不安に思っている人もいるかも知れませんが、重要な試験の前に、全ての範囲を解き直しすればいいです。

まずは『**間違った問題だけを正解するまで解き直し**』してください。

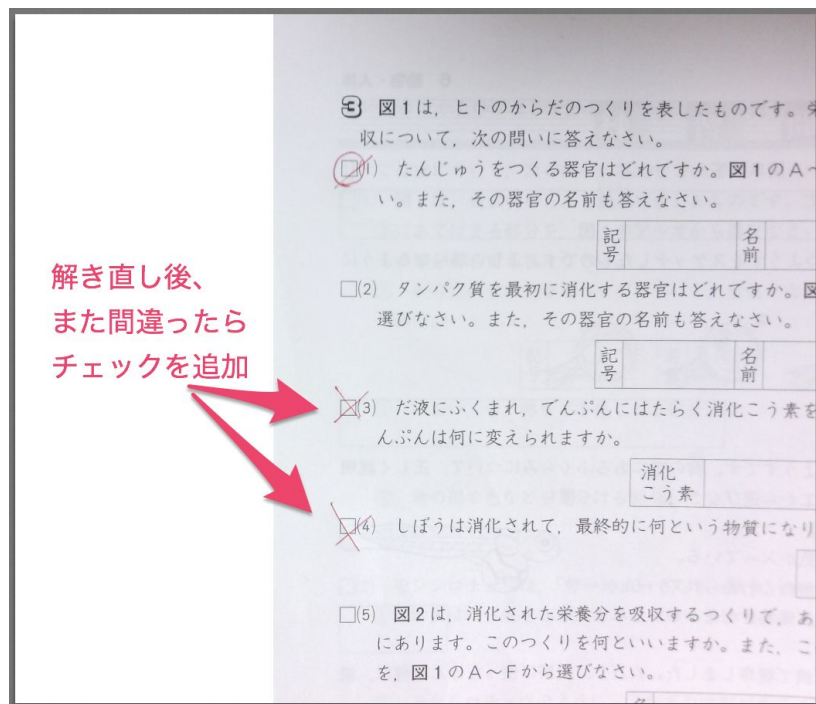
解き直し後、また間違った問題にチェックを追加

解き直し後、正解したらチェックボックスに○をつけてください。



○がついた問題は、次の解き直し時は解かなくていいです。

解き直し後、また間違った問題にはチェックを追加してください。



チェックが追加された問題のみを、もう一度解き直します。






正解するまで解き直しを繰り返す

間違った問題について、正解するまで解き直しをしてください。

正解した問題は解き直しをする必要はないです。

解き直して何度も間違える問題は、以下のように間違えた回数がかかるようなチェックをするといいです。チェックが多い問題があなたの弱点です。考え方や解き方がわかっていない可能性があるなので、先生に質問しましょう。


チェックの例

	1回間違えた
	2回間違えた
	3回間違えた
	4回間違えた
	5回間違えた

間違える度に
チェックを追加すること

解き直して正解した問題のチェックボックスには○を追加してください。

チェックの例

	1回間違えた後、解き直して正解だった
---	--------------------

そして○がついた問題は解き直しをする必要はないです。